

Ⅰ はじめに

「未来の京都創造研究事業」は、「大学のまち・京都」が有する知の集積を活用し、未来の京都づくりに向けた政策を創造するための調査・研究を行うとともに、最先端の研究に取り組む意欲ある若手研究者等の発掘・育成とネットワーク形成を目指して、公益財団法人 大学コンソーシアム京都と京都市が平成 23 年度から始めた共同事業である。

本事業の一環として、未来の京都づくりに向けた政策を創造するための調査・研究を行うための貴重な情報を得ることを目的に、京都市が実施している「市民生活実感調査」のデータ分析を 23 年度から試行的に実施した。23 年度は「生活実感」「政策の重要度」「市政への関心度」の三種類の調査項目における属性（「世代別・性別」と「居住区別」）ごとの分析を行うにとどまったが、本 24 年度は本格実施として、大学コンソーシアム京都の専門部会である「都市政策研究会」の協力も得て、より充実した分析を実施した。

具体的には、「生活実感」「政策の重要度」「市政への関心度」の 2 年度分の回答の変化の状況把握に加え、23 年度は分析対象としなかった「自由記述」および 24 年度から新しく「市民生活実感調査」に設定された「幸福実感」を分析対象とし、さらに各調査項目間のクロス分析も実施した。これらを「分析編」としてコンパクトにまとめるとともに、24 年度の属性ごとの集計結果を「資料編」として収めている。

おりしも 23 年度から開始した京都市の基本計画「はばたけ未来へ！ 京プラン」を軸とした今後 10 年先の京都市を見通すとき、各政策分野の担当部署や各区においては、本報告書で示された分析結果について、背景まで踏み込んで考え意見交換することで、今後の事業計画などに活用することができると思う。

また京都市民のみなさんには、市全体だけでなく自分の住む区の分析結果を参考に、まちづくり活動等に生かしていただければ幸いである。特に京都に数多くいる大学生にはこの分析結果を材料として学業やまちづくり活動等に生かしていただくことを期待する。